

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	宮崎県川南遊学の森
指定管理者	公益社団法人宮崎県緑化推進機構
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
県所管部課	環境森林課

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
主催事業(自然体験講座)参加者数	278	199	287	主催事業(自然体験講座)については、前年度に比べ中止となった回数が減少したため、参加者が増加した。 自主研修等利用者数については、前年度が新型コロナウイルス感染症の影響で遠足等での利用が増えたことにより例年に比べ大幅に増加したことを考慮すると、例年通りの利用者数であったといえる。
自主研修等利用者数	55	113	56	
合計	333	312	343	
コメント	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、講座を延期して開催するなどの措置をとったことにより、主催事業(自然体験講座)の参加者数は前年度から大幅に増加した。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で事業を実施していく。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	6,962	6,681	6,681	人件費	2,485	3,197	3,363
				光熱水費	40	50	49
				委託料	2,651	1,321	1,210
				諸機材費	300	292	338
				保険料	82	80	78
				旅費等	77	36	50
				報償費	202	141	160
				印刷製本費	123	68	67
				広告・通信費	477	499	372
				諸経費(消費税等)	114	100	102
				消耗品等	139	58	24
				管理費	474	199	259
				修繕費	52	675	18
合計(①)	6,962	6,681	6,681	合計(②)	7,216	6,716	6,090
収支差額(①-②)	-254	-35	591				
コメント	事業計画書に基づき、適正に管理が行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	バイオトイレ、展望台、あずま屋、炭焼き体験施設、野鳥観察施設、管理車道、林間歩道、案内板、ベンチ
	保守・点検	日常点検業務及び専門的な保守点検並びに必要に応じ緊急点検
	警備	巡回業務により実施(夜間無し)
	修繕	安全または管理運営上必要な施設、県が必要と認める施設等(随時)
	備品等管理	整備台帳、管理台帳、経理帳簿
	安全対策	安全管理点検、救急用品整備(イベント開催時)
	その他	下草刈り
企画運営業務	サービス提供体制整備	施設及び自然体験講座開催の新聞等による広報活動やパンフレット作成・配布及び施設と自然体験講座の紹介動画・チラシの作成、参加者満足度調査
	イベント等ソフト面充実	自然体験講座(11回・278人)、利用料金は徴収していない
	施設設備等ハード面充実	管理車道、林間歩道、バイオトイレ、炭焼き体験施設、展望台、あずま屋、野鳥観察施設
	その他	
管理運営体制	情報公開及び個人情報保護規制整備	
コメント	協定書に基づき、法令遵守の上、適正な管理が図られている。利用者満足度調査による評価も高い。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	自然体験講座の際にアンケート調査を実施(月1回)	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
雨の際など、講師の説明が聞き取りづらかった。	拡声器など音響機器を活用。	
道中に関する意見が複数。(道が狭い、道標が少ないなど)	講座の際には追加で看板を設置し、道についても広い方の道を案内。	

5 総合評価

評価コメント	施設の管理運営は協定書に基づき適正に行われており、主催事業(自然体験講座)の参加者満足度も高い状態を維持している。
今後の課題と対応	主催事業(自然体験講座)に関しては、参加者が安心して参加できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底していく必要がある。自主研修等の利用者についても、令和3年度に作成した紹介動画やチラシを上手く活用し、更なる県民への周知を図っていく必要がある。